太平洋同盟（「準加盟国」交渉）

８月２５日付チリ主要紙は，太平洋同盟の準加盟国交渉に関して報じているところ，右概要以下のとおり。

１　太平洋同盟は，自由貿易をベースとして地域統合を目指す国々にとっては，最も魅力的なフォーラム（foro）になりつつある。メルコスールとの真の収斂を得て，また，多様性に留まらず，メルコスールが大きな自由貿易地域に発展していくよう，太平洋同盟は門戸を開いた。

２　太平洋同盟は，９月に行われる豪州，カナダ，NZ及びシンガポールとの交渉により，グローバルレベルで注目される協定になる可能性が高い。右交渉は，当該４カ国ができる限り短い期間で太平洋同盟の準加盟国になるためのものである。トランプ米国大統領のTPP離脱により，特に太平洋地域においては，この種の協定を推進させることが重要になった。チリ外務省は，当該４カ国との交渉をできるだけ早く終結させたいとしている。チリは，当該４カ国と既にFTAを有するが，準加盟国交渉では，バイラテラルのFTAには含まれないテーマは含まれるだろうし，それらはチリにとって恩恵となり得る。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(了)